



# JR東労組仙台

## 2022年末手当

# 会社回答に対する怒り！怒り！怒り！

### 仙台地本青年部情報

2022年11月14日  
NO. 1  
発行：JR東労組仙台地本  
発責：鈴木 敬太

年末手当回答 答基準内賃金の  
**2.4ヶ月+2万円**  
は納得出来ない！！

# 怒

私たちは黒字化達成に向けて安全安定輸送やコストカット、休日出勤など担ってきました。黒字化は職場からの奮闘の成果です。私たちの努力に対してのこの回答は、これまでの苦勞を無視しています、決して納得できる回答ではありません！！

第2回交渉の中で「役員報酬の自主返納は今行っていない」事が明らかになりましたが、社長は定例記者会見で自主返納は業績が改善されるまでの間」と述べています。しかし私たちに「先行き不透明、業績が予想よりも低い」など年末手当を出し渋っています。私たち組合員・社員ばかりに負担を強いる経営姿勢を断じて許すことはできません！！

社友会、未加入者の皆さんに訴えます。このままで満足できますか？会社は社員をコワのように考えていません、我慢するだけでは何も変わりません。今こそJR車労組に結集し安心して働ける環境を共に作りましょう！！

### JR東労組仙台支部

2022年11月15日 No05(通巻第933)

発責 執行委員長  
中澤 忍  
編集 教宣部長  
小林 幸夫

**2.4ヶ月+2万**  
コロナ禍の中、黒字に転換させた我々努力に報いる！  
こんな回答では納得できない！！

# 怒

組合員・社員と家族の生活を守り、モチベーション維持・向上のため

本部と共に最後までたたかおう！

### 分会情報紙 Voice

No.4 2022年11月13日  
発行：日本旅客鉄道労働組合連合会  
発行責任者：山崎 重典

## 会社回答に到底納得できず！

11月11日、会社は22年の年末手当支給額を基準内賃金2.4ヶ月+2万円と回答した。JR東労組としては到底納得できる回答ではなく妥協に至っていない。

コロナ禍により経済的にも精神的にも負担増！  
各種会社施策が進められ労働密度は高まる！  
会社経営陣の報酬はどれだけ下げたのか！？  
物価は上がり続けるのに収入は上がりません！  
私たちにボーナスは生活給だ！  
会社の回答や姿勢に大きな不満と怒り！

組合員の皆さん！一丸となってたたかひ続けよう！  
組合未加入者の皆さん！本当にこの回答で良いのか？！

# 職場から怒りの声が続々寄せられています！

### JR東労組仙台地方本部会津若松支部

### 会津若松支部だより

2022/11/11 No. 8  
発行責任者 佐藤 浩二  
編集 情宣部

会津若松支部は納得できません！  
会社は現場の努力を正しく評価せよ  
年末手当会社回答 速報  
基準内賃金の**2.4ヶ月+2万円**

会津若松地区は10月1日、11年ぶりとなる只見線の全線運転再開を無事に果たしました。皆さまの努力と応援に心から敬意と感謝を申し上げます。

喜多方～山部間の越後西線の復旧が未だ見通せませんが、会津独自のダイヤ改正を完遂し、運用の計画からデータの更新、東北本部と新潟支社や「上下分離」による横断機との協議、線路設備の新設や改修と立ち回り環境、業務員養成とハンドリング、その臨時乗務員教育、ワンマン化のお客後見知と社員訓練等々、運転再開以降は地区を上げてのお出迎えと案内対応、職場キヤンパチを越える多くの臨時列車を運行し、今日までの安全安定輸送を必死に頑張ってきました。

運転再開以降もワンマン設備やエスカレーターなど設備の不備や想定を大きく超えた混雑など、様々な問題に直面して対応してきました。只見線の復旧は私たちが一人ひとりで、現場は毎日お客さまから「もう二度と来ない」とお怒りの苦情を受けながら、歯を食いしばって業務してきました。延長運転・増結・ワンマン解除・乗降機の変更など、変更に変更が相次ぐ中で「初日以降は大きな事故無く今日を迎えているのは現場の苦闘」があったからです。このような中でも変革2027の実現に向け、組織の再編、構造改革、賃金削減を担い、黒字化を実現してきたのは私たちが一人ひとりで、着以降、休日勤務を含めた超過勤務業務量は増大の一途をたどっています。

連日会津には多くのお客様がお越しになっており、黒字化に現場で感じる好循環と、今回の会社回答に大きな希望が私たちにあります。

コロナ禍対応、只見線全線再開に全力を尽くした組合員の努力を会社は正当に評価し、物価上昇、黒字転換を果した成果配分を要求の満額回答で答えてよ！

最後まで本部交渉団と  
共にたたかおうぞ！！  
■組合員 2022年度「年末手当」に関する申し入れ、  
基準内賃金の 3.3ヶ月  
■非組合員 コロナウイルス対応特別手当 一時5万円  
支払いは12月6日まで 回答は11月16日まで

No. 22-01  
2022年11月14日  
責任者：納賀 直人 (本部) (東北)

低額回答に「怒」  
【要求】3.3ヶ月+5万円  
に対して  
2.4ヶ月+2万円【回答】

会社回答以降、支部に寄せられた幹線で働く「仲間の声」

- ・2020年夏季手当と同水準。今年は非常事態宣言も行動制限もない。会社としてもウイズコロナ、アフターコロナを目指しているのに、なぜ賃金は以前のままなのか。
- ・手当も旅費もない。住宅も15年で退去。燃料費も物価も高騰している中、毎月ボーナスを切り崩して生活している。ボーナスが生活給になっている現実を知って欲しい。
- ・他企業ではインフレ手当を支給している。物価対策を加味して、この回答なの？
- ・会社として持ち家取得を促進している。これは家や車のローンも払えない...
- ・コロナ禍以降、会社の黒字化に向けて、様々な施策に一生懸命取り組んできた。働き度や頑張りは過去最高だ。言葉だけでなく、利益を社員に還元すべきだ。
- ・社員の1番のモチベーションは賃金アップだ。会社として持続可能な経営体制を 目指すのであれば、社員の成長と離職防止に向けて「満額回答」するべきだ。

社員と家族の幸福実現のために、  
低額回答を許さず、一致団結してたたかおう！



組合員だけでなく、未加入の皆さんもご意見をお聞かせ下さい！



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

# 年末手当アンケートを実施しています！みなさんの声をお聞かせ下さい！